

# 2018年3月期 第2四半期決算説明会



**スズキ株式会社**  
2017.11.2

## 第2四半期実績

### ● 連結業績 … 増収増益、売上高・各利益過去最高※1

売上高	1兆8,311億円、前年同期比+22.2%	} 2期振り増収 6期連続増益
営業利益	1,729億円、前年同期比+49.7%	
経常利益	1,869億円、前年同期比+53.4%	
四半期純利益※2	1,042億円、前年同期比+ 4.3%	8期連続増益

- ・ 増収…インド、欧州、日本での四輪車、二輪車の販売増加等
- ・ 増益…日本、アジア、欧州での損益改善等

### ● 四輪世界販売 … 1,581千台（前年同期比+12.6%）で過去最高※1

- ・ インド、欧州、日本、インドネシア等で増加

### ● 二輪世界販売 … 797千台（前年同期比+18.8%）

- ・ インド、中国、インドネシア等で増加

### ● 中間配当 … 前回予想から8円増配し30円配当

- ・ 第2四半期業績が期初予想を上回ったことを踏まえ増配

## 通期業績予想

### ●通期業績予想 … 売上高・各利益を上方修正

売上高	3兆6,000億円、前期比+13.6%、前回予想比+2,000億円
営業利益	3,000億円、前期比+12.5%、前回予想比+600億円
経常利益	3,200億円、前期比+11.6%、前回予想比+650億円
当期純利益※	1,800億円、前期比+12.5%、前回予想比+350億円

・第2四半期実績、及び販売台数見直し・為替前提の変更等を反映

### ●四輪世界販売 … 3,102千台、前回予想比+31千台

- ・アジア、欧州等を上方修正
- ・インドは前回予想の前期比8%増から10%増へ上方修正

### ●二輪世界販売 … 1,515千台、前回予想比+96千台

- ・アジア等を上方修正

### ●期末配当予想 … 前回予想から8円増配し30円配当

- ・通期業績予想の上方修正を踏まえ増配

## 増収増益、売上高・各利益過去最高

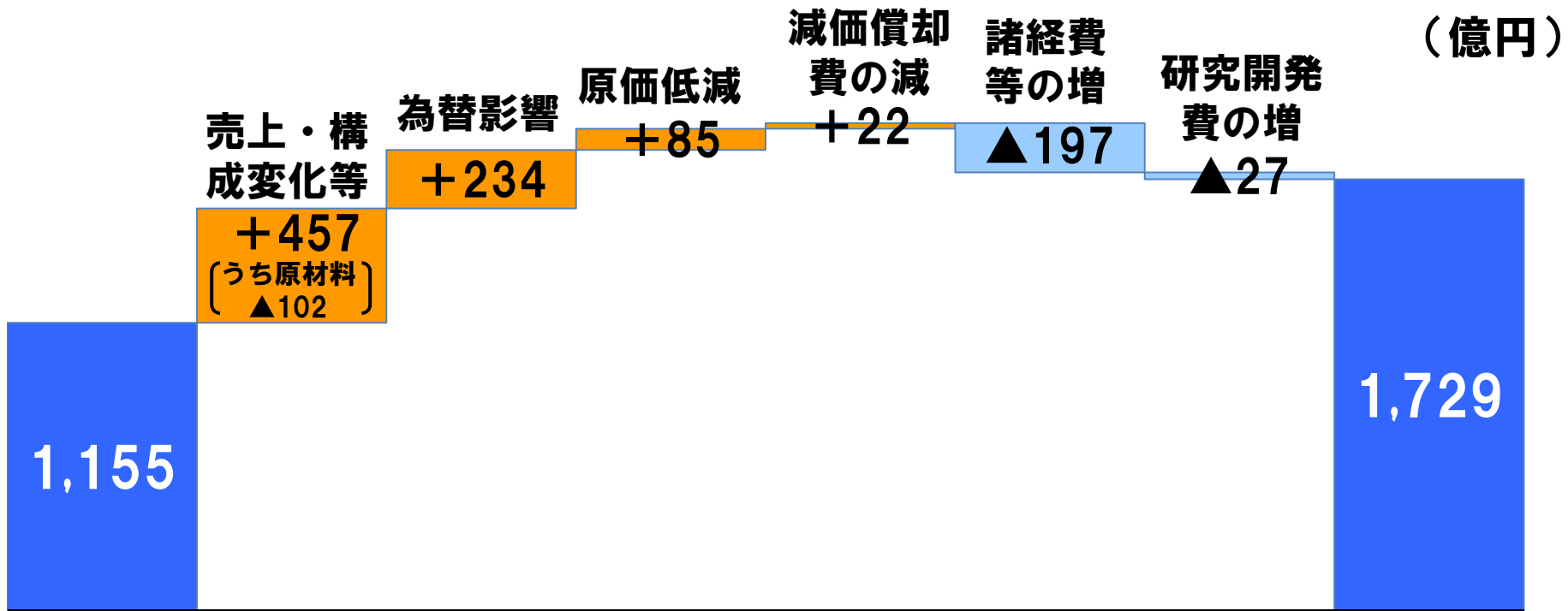
(億円)	当第2四半期 (’17/4-9)	前年同期 (’16/4-9)	増 減	
			増	減 増減率
売上高	18,311	14,990	+3,321	+22.2%
国内売上	5,314	4,966	+348	+7.0%
自 社	4,812	4,544	+268	+5.9%
OEM	502	422	+80	+19.1%
海外売上	12,997	10,024	+2,973	+29.7%
営業利益 (利益率)	1,729 (9.4%)	1,155 (7.7%)	+574	+49.7%
経常利益 (利益率)	1,869 (10.2%)	1,218 (8.1%)	+651	+53.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (利益率)	1,042 (5.7%)	999 (6.7%)	+43	+4.3%

## 各事業・各地域で増加、国内・海外・連結とも過去最高※

(億円)	四輪車			二輪車			特機等			合計			内、為替 換算影響
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	5,119	4,784	+335	118	103	+15	77	79	▲2	5,314	4,966	+348	
自 社	4,617	4,362	+255	118	103	+15	77	79	▲2	4,812	4,544	+268	
OEM	502	422	+80							502	422	+80	
海外計	11,572	8,893	+2,679	1,126	863	+263	299	268	+31	12,997	10,024	+2,973	+929
欧 州	2,235	1,776	+459	240	195	+45	86	67	+19	2,561	2,038	+523	+140
北 米	8	12	▲4	156	102	+54	137	134	+3	301	248	+53	+16
アジア	8,150	6,034	+2,116	557	407	+150	29	25	+4	8,736	6,466	+2,270	+693
インド	6,213	4,615	+1,598	223	143	+80	2	1	+1	6,438	4,759	+1,679	+595
〃以外	1,937	1,419	+518	334	264	+70	27	24	+3	2,298	1,707	+591	+98
その他	1,179	1,071	+108	173	159	+14	47	42	+5	1,399	1,272	+127	+80
総合計	16,691	13,677	+3,014	1,244	966	+278	376	347	+29	18,311	14,990	+3,321	+929
内、為替 換算影響			+860			+57			+12				+929

注、当期…2017年4～9月期、前期…2016年4月～9月期、北米…米国・カナダ、北米四輪車…部品用品等

※第2四半期累計期間として過去最高



前年同期  
営業利益

当第2四半期  
営業利益

増益要因 +798

減益要因 ▲224

営業利益 +574

	当第2四半期 (’17/4-9)	前年同期 (’16/4-9)	増 減	営業利益 為替影響
米ドル	111円	105円	+6円	+19億円
ユーロ	126円	118円	+8円	+57億円
インドルピー	1.74円	1.58円	+0.16円	+111億円
インドネシアルピア (100ルピア当り)	0.84円	0.80円	+0.04円	+11億円
タイバーツ	3.28円	3.00円	+0.28円	▲10億円
その他	—	—	—	+46億円 ※
計				+234億円

※オーストラリアドル+10億円、パキスタンルピー+8億円、メキシコペソ+8億円 他

(億円)

	当第2四半期 ( '17/4-9 )	前年同期 ( '16/4-9 )	増 減
(当社単独)	215	305	▲90
(子会社)	520	646	▲126
設備投資	735	951	▲216
減価償却費	743	765	▲22
研究開発費	654	627	+27

	当第2四半期末 ( '17/9末 )	前年同期末		前期末	
		( '16/9末 )	増 減	( '17/3末 )	増 減
有利子負債残高	6,418	6,398	+20	6,399	+19



(億円)

営業C/F 投資C/F

+2,260

▲1,347

財務C/F

その他

▲279

+51

6,140

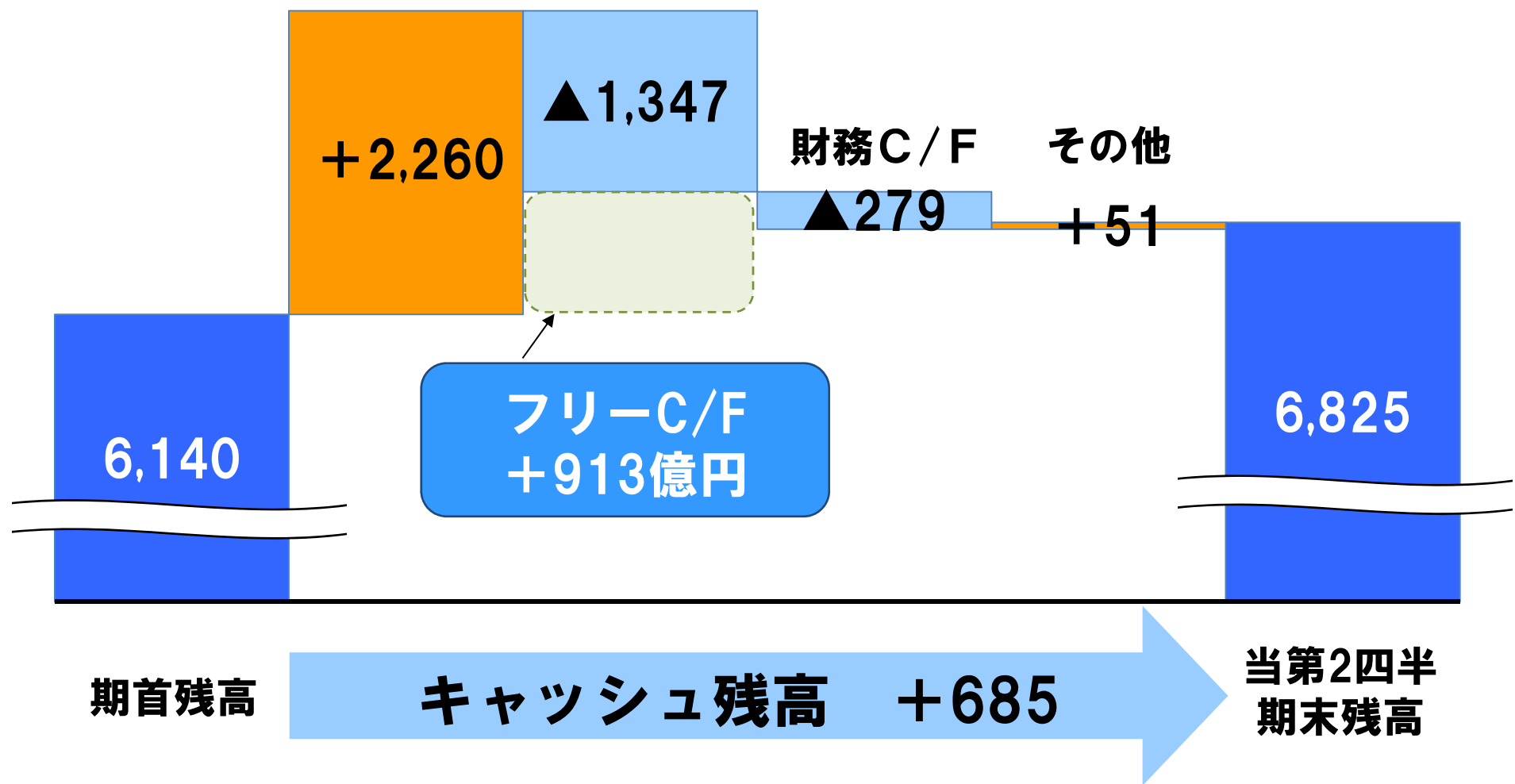
フリーC/F  
+913億円

6,825

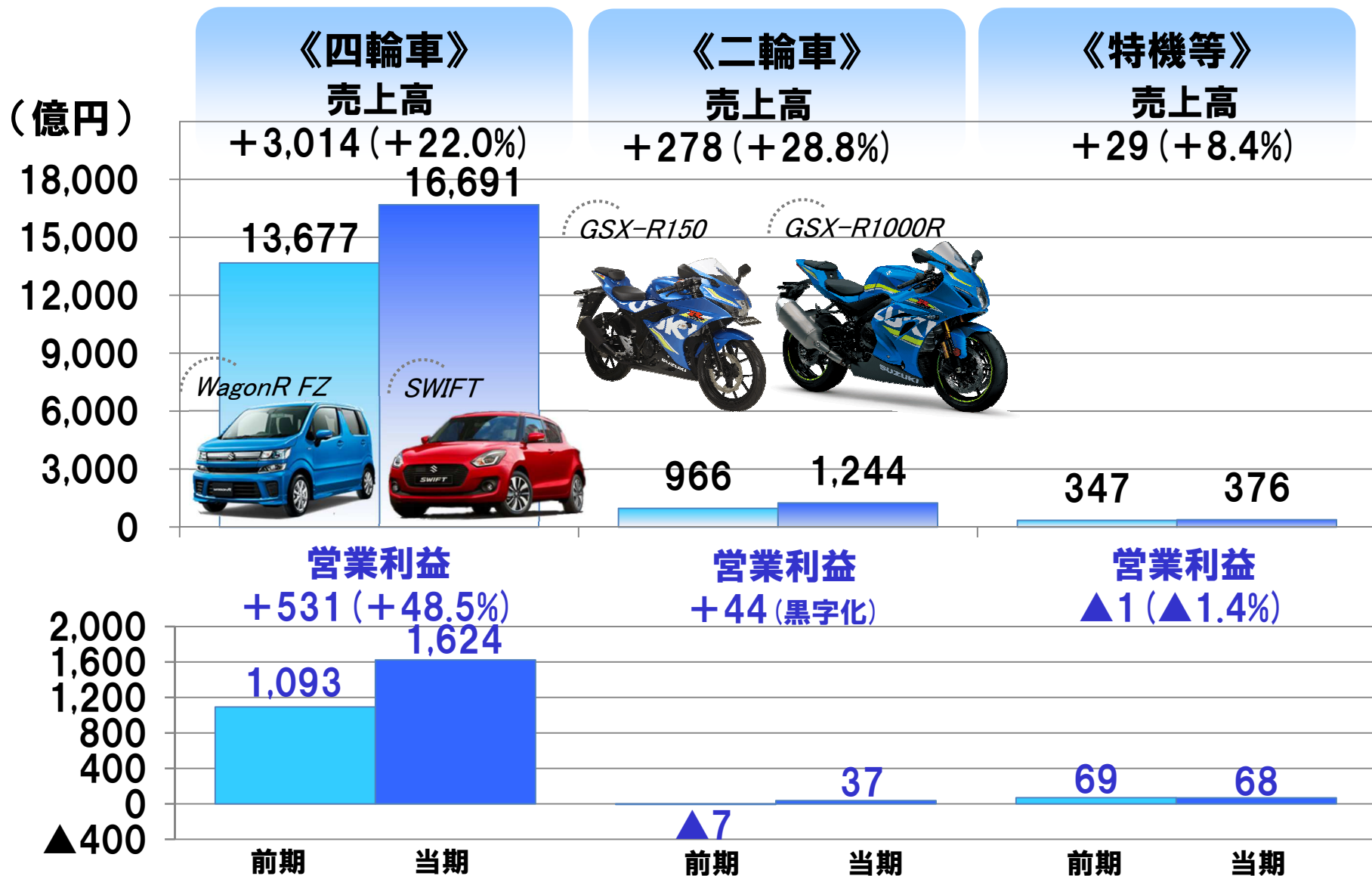
期首残高

キャッシュ残高 +685

当第2四半  
期末残高



# 連結：事業別業績 (売上高・営業利益)



# 新型船外機「DF350A」が 技術革新賞を受賞

- ・「DF350A」がアメリカマリン工業会\*より、「技術革新賞（2017 IBEX Innovation Award）」を受賞
- ・先進的で優れた技術を備え実用的かつ費用効率が高く、真に消費者の利益となる製品に与えられるマリン技術界最高の賞
- ・スズキは船外機メーカー最多の8回目の受賞

## DF350Aの主な特長

### 最大出力350馬力の新型エンジン

- ・排気量4,390cm<sup>3</sup>、4ストロークV型6気筒、高圧縮比12.0
- ・ダイレクトインテークシステム、スズキデュアルルーバーシステム、デュアルインジェクターと最適な燃焼室形状

### スズキデュアルプロップシステム

- ・反転する2枚のプロペラを組み合わせ（二重反転プロペラ）  
→エンジン出力をより効率的に推進力に変換
- ・小型化したギヤケースが水中抵抗を低減  
→高い走行性能と直進安定性

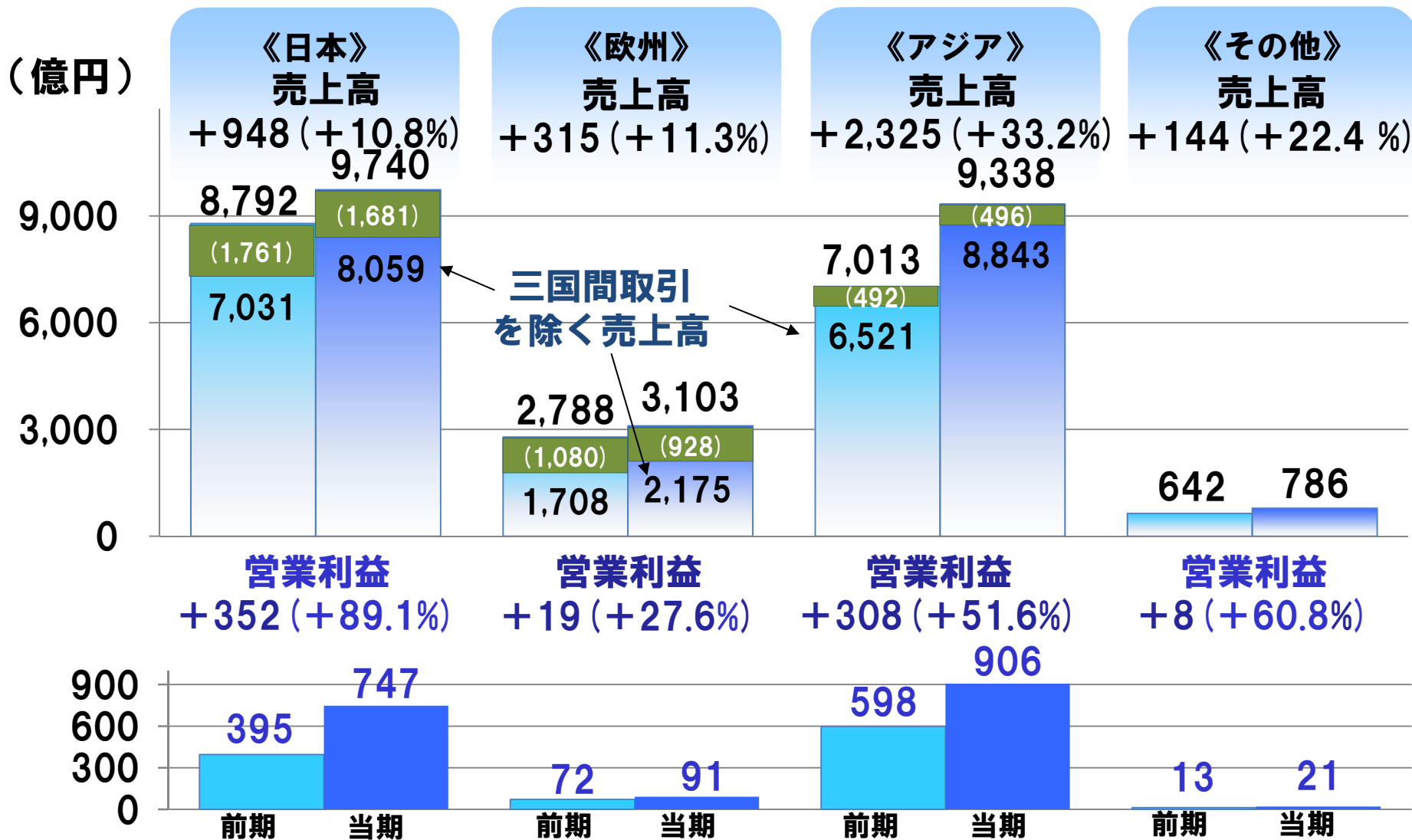
### 先進的なスタイリング

THE  
**ULTIMATE**  
4-STROKE OUTBOARD



 GOOD DESIGN AWARD 2017

# 連結：所在地別業績 (売上高・営業利益)



注. 三国間取引について  
 従来、ハンガリー生産車の欧州域内への子会社向け売上高は、域内子会社間取引として消去されていましたが、取引形態を日本経由の三国間取引に変更したため、日本向け売上高及び日本から欧州への売上高が消去されず、日本・欧州ともに売上高がその分、多く表示されています。アジアについても同様な取引があります。  
 ※当期・・・2017年4月～9月期、前期・・・2016年4月～9月期

	当第2四半期末 ('17/9末)	前年同期末		前期末	
		('16/9末)	増減	('17/3末)	増減
連結 子会社数	136社	136社	±0社	136社	±0社
持分法適用 関連会社数	33社	33社	±0社	32社	+1社
従業員数	65,056人	62,932人	+2,124人	62,992人	+2,064人

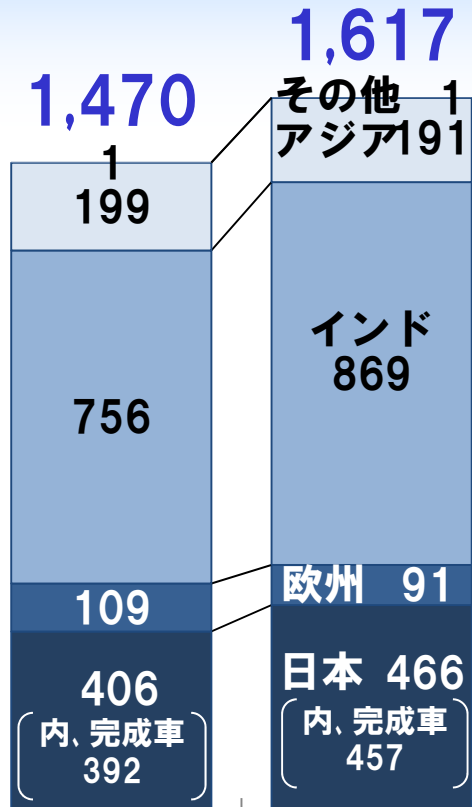
## 第2四半期での業績改善等を反映

(億円)	今回 通期予想	前期比較		前回予想比較	
		前期実績	増減	前回予想	増減
売上高	36,000	31,695	+4,305	34,000	+2,000
営業利益	3,000	2,667	+333	2,400	+600
経常利益	3,200	2,867	+333	2,550	+650
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,800	1,600	+200	1,450	+350
増減 要因	売上・構成変化等	+793	+1,197	+223	+570
	原価低減	+200	+231	+270	▲70
	為替影響	+200	▲793	—	+200
	諸経費等の増減	▲500	+35	▲400	▲100
	研究開発費の増	▲190	▲5	▲190	±0
	減価償却費の増減	▲170	+49	▲170	±0
計	+333	+714	▲267	+600	
設備投資	2,200	1,988	+212	2,200	±0
減価償却費	1,800	1,634	+166	1,800	±0
研究開発費	1,500	1,315	+185	1,500	±0

## 1,617千台で第2四半期としては過去最高

《4～9月比較》

+147千台 (+10.0%)

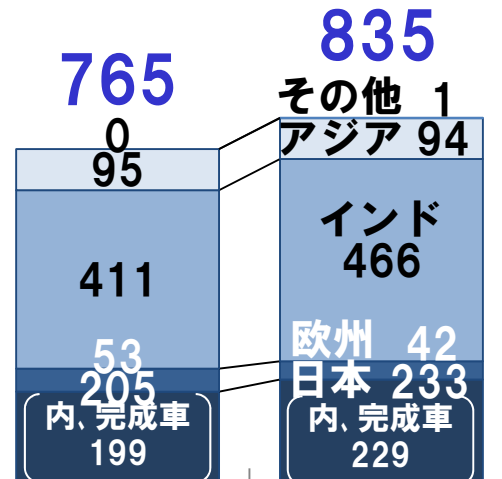


前年同期  
'16/4-9

当第2四半期  
'17/4-9

《内、7～9月比較》

+70千台 (+9.2%)  
(千台)



前年同期  
'16/7-9

当第2四半期  
'17/7-9

### ●当期（4～9月）の世界生産

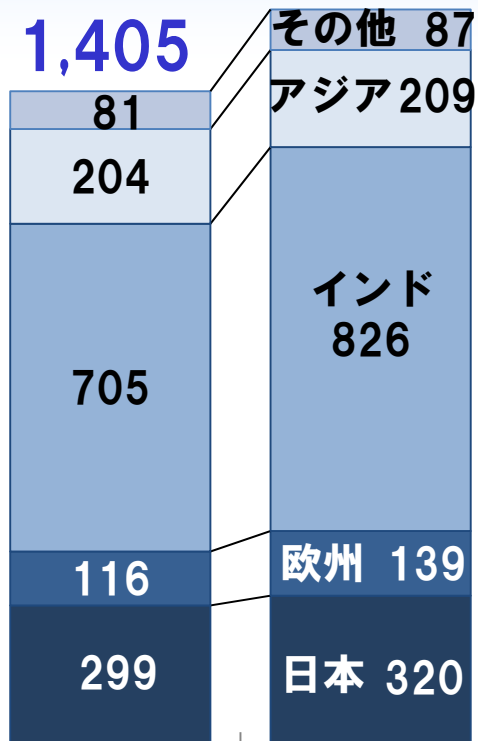
- ・1,617千台（前年同期比+10.0%）で、過去最高を更新
- ・日本（同+14.8%）、インド（同+15.0%）で増加
- ・欧州は「スイフト」生産を日本へ移管したことにより減少（同▲17.2%）
- ・インドを除くアジアは、中国の減少により減少（同▲4.1%）

## 世界販売も1,581千台で過去最高を更新

《4～9月比較》

+176千台 (+12.6%)

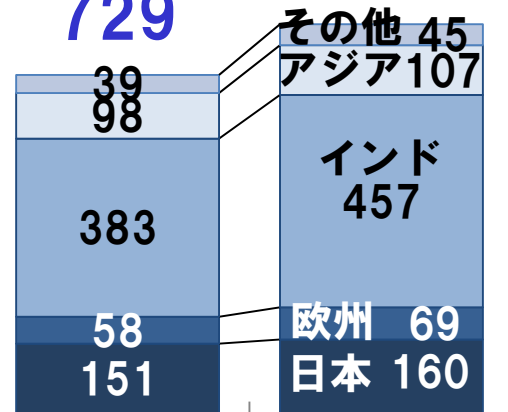
1,581



《内、7～9月比較》

+111千台 (+15.2%)  
(千台)

840



●当期（4～9月）の世界販売

- ・1,581千台（前年同期比+12.6%）で、過去最高を更新
- ・日本（同+7.2%）、欧州（同+19.7%）、インド（同+17.1%）で増加
- ・インドを除くアジアは中国が減少したが、インドネシア、タイの好調により増加（同+2.5%）

前年同期  
'16/4-9

当第2四半期  
'17/4-9

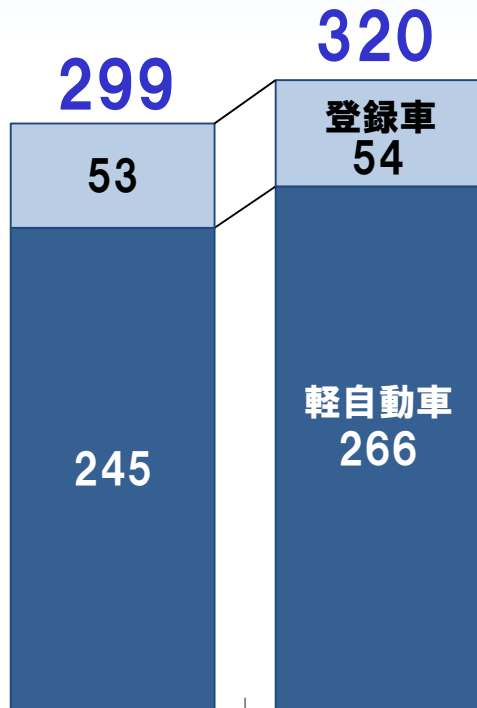
前年同期  
'16/7-9

当第2四半期  
'17/7-9

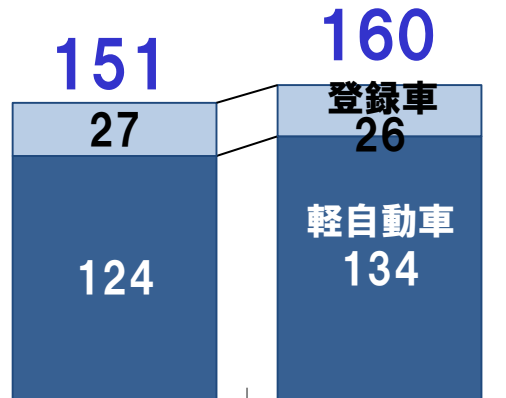


## 「ワゴンR」「スイフト」など新型車が貢献

《4～9月比較》  
+21千台（+7.2%）



《内、7～9月比較》  
+9千台（+6.2%）  
（千台）



- 当期（4～9月）の日本販売
  - ・ 320千台（前年同期比+7.2%）
  - ・ 新型「ワゴンR」「スイフト」など新型車が貢献



GOOD DESIGN AWARD 2017

- トピックス
  - ・ 本年8月、1955年10月の軽四輪車「スズライト」発売から61年11ヵ月で国内四輪車累計販売2,500万台を達成
  - ・ 9月、新型「スイフトスポーツ」発売



GOOD DESIGN AWARD 2017

前年同期  
'16/4-9

当第2四半期  
'17/4-9

前年同期  
'16/7-9

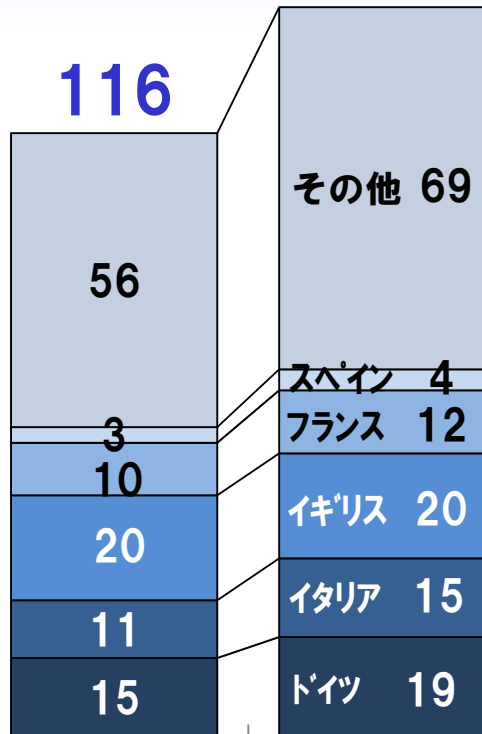
当第2四半期  
'17/7-9

## 「イグニス」「SX4 S-CROSS」が貢献

《4～9月比較》

+23千台（+19.7%）

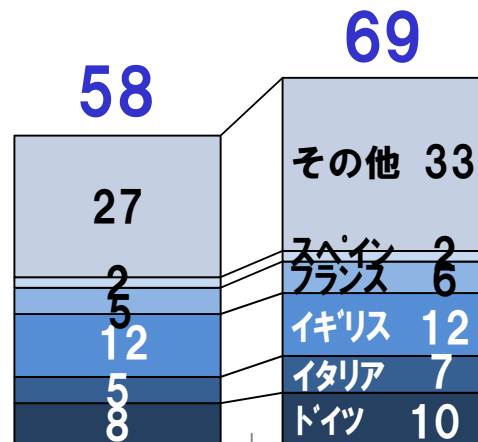
139



《内、7～9月比較》

+11千台（+19.7%）

（千台）



### ●当期（4～9月）の欧州販売

- ・ 欧州全体では「スイフト」、「SX4 S-CROSS」、「イグニス」など新型車の貢献により、前年同期比+19.7%と増加



前年同期  
'16/4-9

当第2四半期  
'17/4-9

前年同期  
'16/7-9

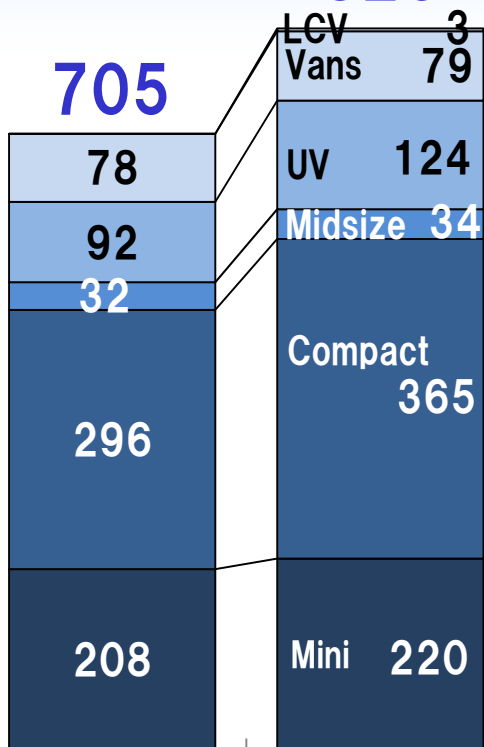
当第2四半期  
'17/7-9

## インドの販売台数は過去最高を更新

《4～9月比較》

+120千台（+17.1%）

826



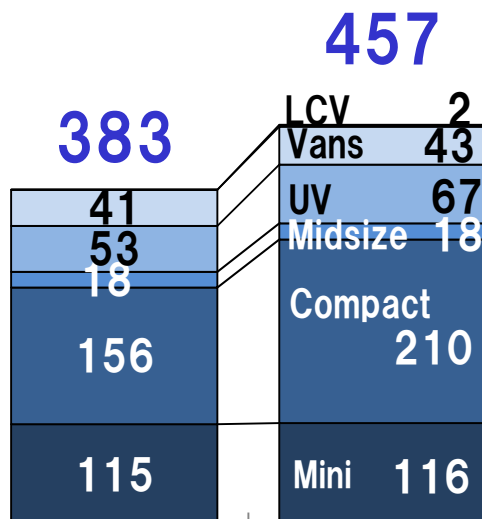
前年同期  
'16/4-9

当第2四半期  
'17/4-9

《内、7～9月比較》

+74千台（+19.4%）

（千台）



前年同期  
'16/7-9

当第2四半期  
'17/7-9

### ●当期（4～9月）のインド販売

- ・「バレーノ」、「ピターラ・ブレッツァ」の好調に加え、新型「ディザイア」投入もあり、4～9月累計は826千台となり、第2四半期としては過去最高を更新

### ●トピックス

- ・「ディザイア」が5月の新発売からわずか5ヵ月半で10万台の販売を達成



GOOD DESIGN AWARD 2017

※LCV=Light Commercial Vehicles, UV=Utilities Vehicles

## グジャラート工場開所式・リチウムイオン電池工場定礎式

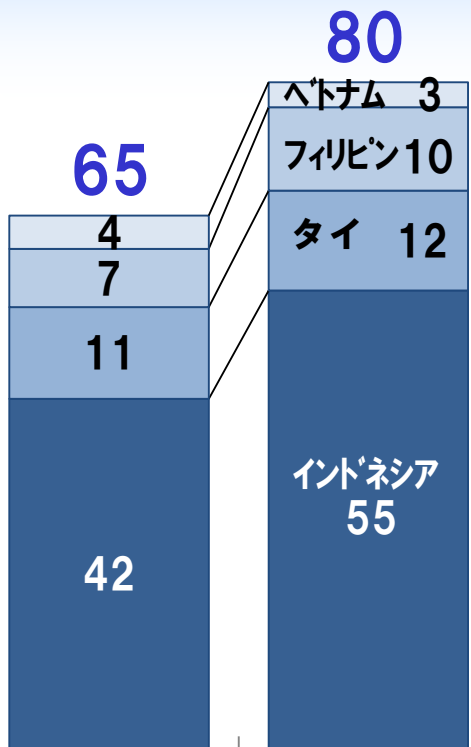


- ・ 9月14日、安倍首相の訪印に合わせて開催されたイベントの中で実施
- ・ 安倍首相、モディ首相はじめ両国政府関係者も列席
- ・ 当社のインドプロジェクトを紹介する映像を会場内にて公開
  - ・ スズキ・モーター・グジャラート社の新工場
  - ・ スズキ、東芝、デンソー合弁によるインド初の自動車用リチウムイオン電池工場
- ・ 記念プレート除幕式
  - ・ グジャラート新工場の開所
  - ・ リチウムイオン電池工場の定礎

スズキは、インド政府が掲げる「Make in India」「Skill India」政策に協力し、インド自動車業界の発展に取り組んでいく

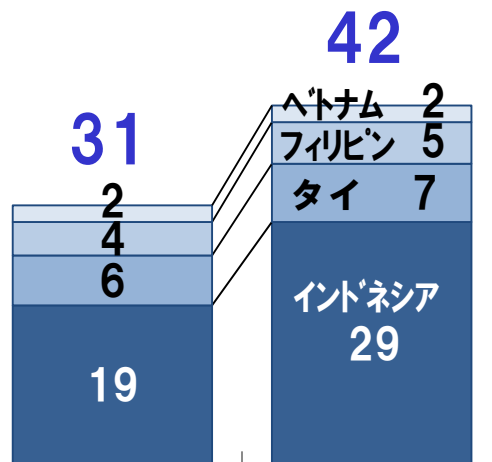
## インドネシア、タイの販売増等により増加

《4～9月比較》  
+15千台（+23.5%）



前年同期 '16/4-9  
当第2四半期 '17/4-9

《内、7～9月比較》  
+12千台（+38.3%）  
（千台）



前年同期 '16/7-9  
当第2四半期 '17/7-9

### ●当期（4～9月）アセアン販売

- ・アセアン4カ国※合計で80千台（前年同期比+23.5%）
- ・インドネシアは新型「イグニス」の好調に加え、商用車の復調もあり、前年同期比+29.1%
- ・タイは「シアズ」の増加により、前年同期比+9.5%

### ●トピックス

- ・インドネシアで「イグニス」に続き、インド製「バレーノ」の販売を開始（8月）

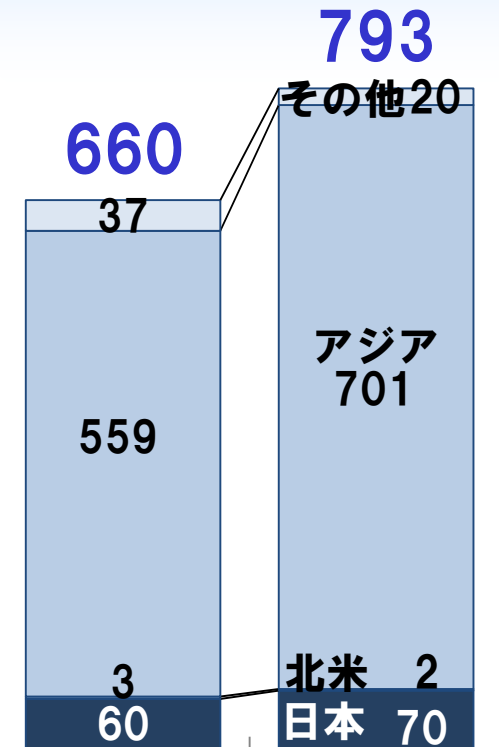


※アセアン：インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム 4ヶ国合計

## 生産・販売ともに増加

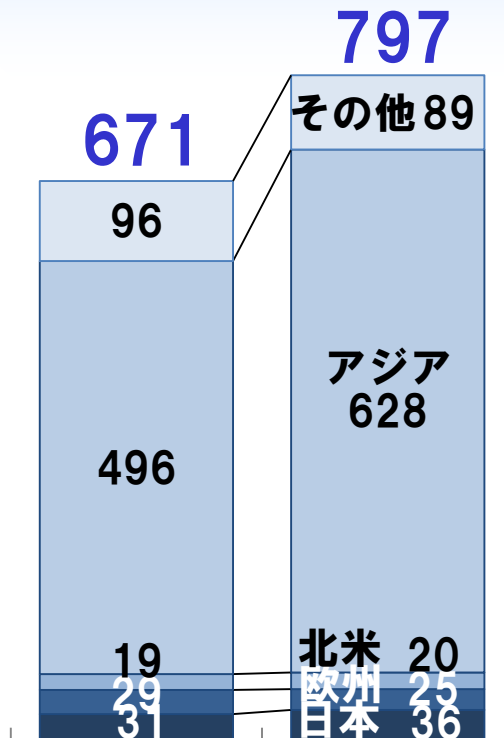
《 4～9月生産 》

+133千台 (+20.2%)



《 4～9月販売 》

+126千台 (+18.8%)  
(千台)



### ●当期（4～9月）の二輪車

- ・二輪車の世界生産は793千台で前年同期比+20.2%
- ・二輪車の世界販売は797千台で前年同期比+18.8%



前年同期 '16/4-9      当第2四半期 '17/4-9

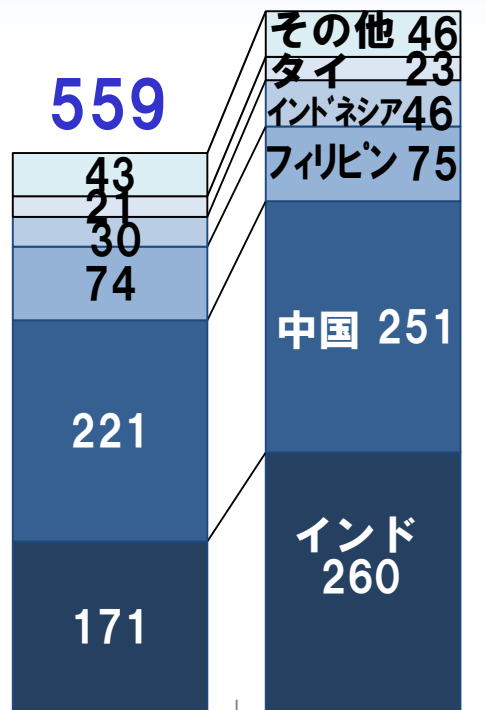
前年同期 '16/4-9      当第2四半期 '17/4-9

## インド、中国、インドネシア等で増加

《 4~9月生産 》

+142千台 (+25.4%) +132千台 (+26.6%)

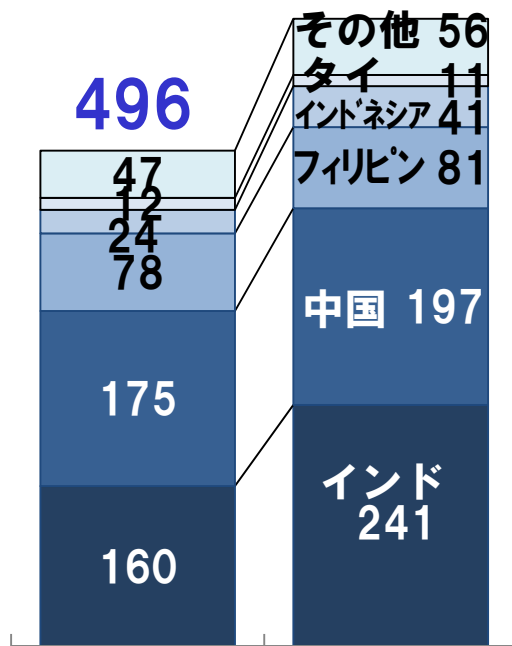
701



《 4~9月販売 》

+132千台 (+26.6%)

628



### ●当期（4~9月）のアジア

- ・アジアの販売は、インド、中国、インドネシア等で増加し、628千台（前年同期比+26.6%）
- ・インドは「アクセス」の好調が続く（同+50.7%）



Access125

- ・インドネシアは「GSX-R150」の貢献により拡大（同+74.1%）



GSX-R150

前年同期 '16/4-9

当第2四半期 '17/4-9

前年同期 '16/4-9

当第2四半期 '17/4-9

## ● 日本での新型車投入

- ・ アドレス125（9月発売）  
1991年の発売以来、「通勤快速」の愛称でご好評いただいているアドレスシリーズの新型モデル
- ・ GSX - S125 ABS（10月発売）  
GSX-S1000、GSX-S750に続くGSX-Sシリーズのエントリーモデル



アドレス125



GSX-S125 ABS

## ● 「GSX250R」、「V-Strom250」が2017年度グッドデザイン賞を受賞

- ・ GSX250R  
街乗りにおける日常的な扱いやすさを持つスタイリッシュなスタンダードスポーツバイク
- ・ V-Strom 250  
ツーリングでの快適性と日常的な扱いやすさを両立したスポーツアドベンチャーツアラー



GSX250R

 GOOD DESIGN AWARD 2017



V-Strom 250

 GOOD DESIGN AWARD 2017

- ・ 四輪車「ワゴンR／ワゴンRスティングレー」と「スイフト」、船外機「DF350A」についても同賞を受賞



## 四輪車、二輪車ともに上方修正

### 通期生産台数

### 通期販売台数

(千台)	予想 (17年度)	前期実績		前回予 想から の修正
		(16年度)	増減	

予想 (17年度)	前期実績 (16年度)	前期実績		前回予 想から の修正
		増減	増減率	

#### <四輪車>

日本	973	871	+102	+11.8%	▲7
欧州	173	203	▲30	▲14.9%	+12
アジア	2,174	1,999	+175	+8.8%	+35
その他	2	1	+1	+51.3%	-
合計	3,322	3,074	+248	+8.1%	+40

645	639	+6	+1.0%	-
270	245	+25	+10.4%	+3
2,010	1,870	+140	+7.5%	+27
177	165	+12	+7.6%	+1
3,102	2,918	+184	+6.3%	+31

#### <二輪車>

日本	155	141	+14	+10.1%	▲3
欧州	-	-	-	-	-
北米	4	4	▲0	▲9.4%	▲1
アジア	1,320	1,162	+158	+13.6%	+140
その他	42	63	▲21	▲33.2%	▲14
合計	1,521	1,370	+151	+11.0%	+122

62	62	+0	+0.1%	▲5
47	45	+2	+4.5%	▲6
39	32	+7	+22.4%	▲1
1,180	1,039	+141	+13.6%	+107
187	190	▲3	▲1.3%	+1
1,515	1,367	+148	+10.8%	+96

## 中間配当、期末配当予想ともに前回予想から8円増配

	当期配当	前期実績比較		前回予想比較	
		前期実績	増減	前回予想	増減
中間配当	30円	17円	+13円	22円 (予想)	+8円
期末配当	30円 (予想)	27円	+3円	22円 (予想)	+8円
年間配当	60円 (予想)	44円	+16円	44円 (予想)	+16円

# 2018年3月期 第2四半期決算説明会



# スズキ株式会社

## 将来予想に関する注意事項

- ※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- ※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。
- ※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場)などが含まれます。